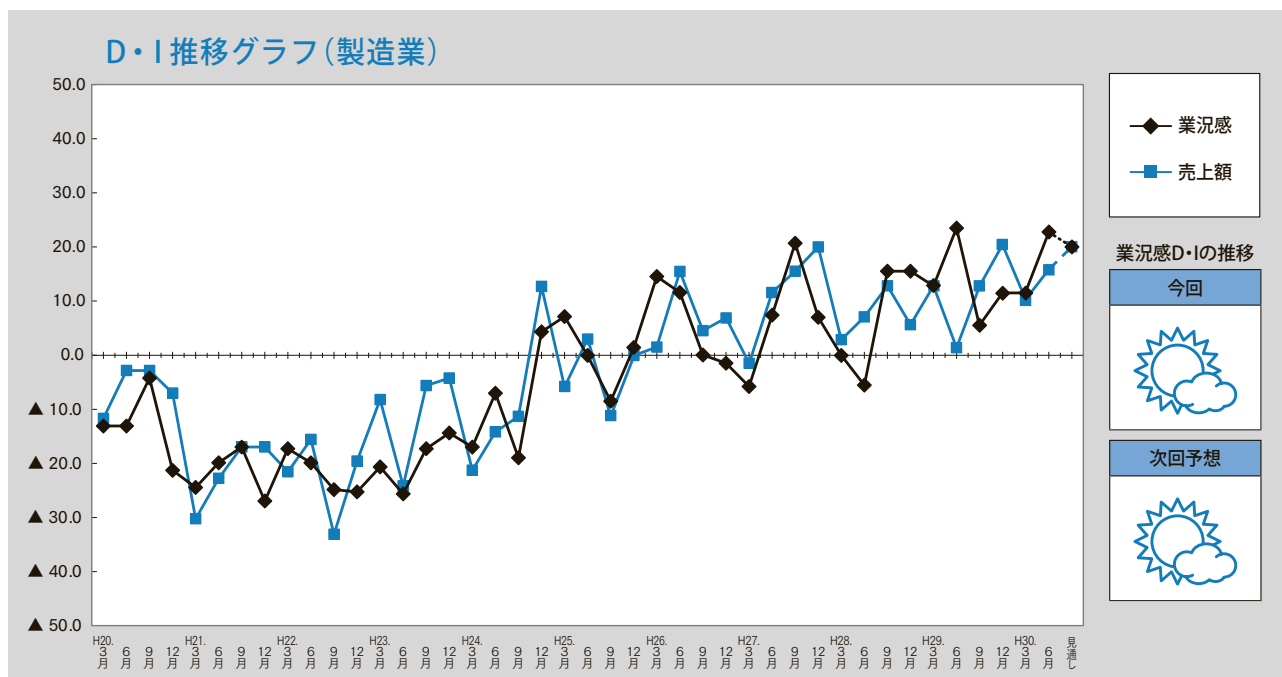


製造業

Manufacturing

業況感好調を維持



1 今期 (平成30年4 - 6月期)

今期の業況感は22.9(前期11.6)となり、前期より11.3ポイント上昇し、前期に比べ大幅に改善した。販売価格D I値が低下し、仕入価格D I値が上昇したが、売上額、収益D I値が改善したことにより全体の業況感を押し上げたものと考えられる。資金繰りは改善し、D I値は4期ぶりにマイナスを解消した。人手については前期と比較し改善したものの、依然として不足感が大きい。また、設備の不足感は軽減した。

2 来期の予想 (平成30年7 - 9月期)

来期の業況感はD I値20.3と今期より2.6ポイント悪化するものの、プラスを維持する見通し。今期改善した売上額、収益D Iはさらに改善の見込みである。販売価格が上昇し、一方では仕入価格の上昇傾向はやや弱まり、資金繰りは改善傾向が続く見込みだが、在庫の過剰感はやや強まる。また、人手不足感は改善する見込みである。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H29.6月期	H29.9月期	H29.12月期	H30.3月期	H30.6月期	来期見込み
業況感	23.5	5.7	11.6	11.6	22.9	20.3
売上額	1.4	12.9	20.3	10.1	15.9	20.0
収益	▲ 4.3	4.3	23.2	▲ 4.3	10.0	17.1
販売価格	7.1	2.9	5.8	14.5	5.7	12.9
仕入価格	▲ 27.1	▲ 10.0	▲ 8.7	▲ 23.2	▲ 30.0	▲ 21.7
在庫	4.3	4.3	▲ 1.4	8.7	▲ 2.9	▲ 4.3
資金繰り	0.0	▲ 4.3	▲ 13.0	▲ 23.2	2.9	2.9
人手	25.7	13.0	23.2	19.1	12.9	5.7
設備状況	12.9	8.6	7.2	18.8	8.6	10.0

業況調査メモ

ものづくりの中小・零細企業では、経営者の高齢化と若手後継者不足に加え、人手不足の影響で事業継続が難しくなりつつある。廃業になると、これまで蓄積してきた優れた技術が途絶えることになり、地域経済にとってもマイナスだ。この事態に着目し、事業承継が難しいものづくり企業へM&Aを働きかけるビジネスのニーズが高まっている。同業他社のみならず異業種とのマッチングで、技術継承とともに別の視点から新たな息吹が吹き込まれる可能性も広がってくる。